

令和3年度 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第2学年	学科 種類	普通科理系
単位数	3単位	教科書	改定版 高等学校 数学Ⅱ (数研出版)				
副教材	クリアー数学Ⅱ+B (数研出版)、チャート式解法と演習数学Ⅱ+B (数研出版)						

学習目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともにそれらを活用する態度を育てます。
------	---

キャリア教育の視点	数学Ⅱでは数式やいろいろな関数についての知識を身に付け、計算や演習を行い、数学に対する関心や探究心を深め、現実社会の種々の事象に対する総合的な見方や考え方を養います。また、数学を学ぶことで未知の広い世界を知り、自分の視野を広げることができます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式	因数分解を利用して高次方程式を解きます。 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに事象の考察に活用できるようにします。 角の概念を一般の角まで拡張して三角関数のグラフや式の値を求めます。	中間 考 査
	5月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線		
	6月	第2節 円 第3節 軌跡と領域		
2 学 期	7月	第4章 三角関数 第1節 三角関数	加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。 指数関数及び対数関数について理解し自然界や現実社会の事象の考察に活用できるようにします。 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、関数のグラフや積分の値などを用いて事象の考察に活用できるようにします。	期 末 考 査
	8月	第2節 加法定理		
	9月	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数		
	10月	第2節 対数関数		
	11月	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数		
3 学 期	12月	第2節 関数の値の変化 第3節 積分法		
	1月			
	2月			
	3月			

学習方法	授業で教科書の内容をしっかりと理解し、その後復習を行ったり日々の課題を活用したりすることによって、自分の手で計算などを確認してください。さらに、チャートなどの応用問題演習によっての知識の定着と学力のアップを図ってください。 3年生での進路選択および科目選択を考え、学習を進めていくので、自分の将来を見据えて計画的にしっかりと学習に取り組みましょう。
------	---

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

備考	
----	--